科目名称	薬理学	学年学期	単位数	時間数
		第１学年　後期	1	30
担当教員	田中　守	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 薬剤師 ） □ 無	

【1】 授業概要

薬理学の基礎知識と薬物療法について学び、薬物療法を受ける患者の安全対策を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 薬理学の基礎知識を理解し、医薬品の健康障害についても理解できる。
2. 健康障害に対する薬物療法の作用機序、人体への影響について理解できる。
3. 薬物管理、看護者の責任について理解できる。

【3】 第１看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
■ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
■ 3. 地域の特性を看護に生かす力
■ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
■ 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	薬とはどのようなものか、薬理作用、薬効に影響を及ぼす因子	講義
2	薬の有害作用　　薬の適応	講義
3	感染症治療の基礎　　抗生物質各論	講義
4	その他の感染症治療薬	講義
5	抗がん薬　　免疫治療薬	講義
6	アレルギー及び炎症に対する薬物	講義
7	末梢での神経活動に作用する薬物	講義
8	中枢神経系に作用する薬物　①	講義
9	中枢神経系に作用する薬物　②	講義
10	心臓・血管系に作用する薬物　①	講義
11	心臓・血管系に作用する薬物　②	講義
12	呼吸器・消化器・生殖器に作用する薬物	講義
13	外用薬　その他の薬物	講義
14	輸液、輸血剤、看護業務に必要な薬の知識	講義
15	試験・まとめ	

【5】 評価方法

試験と授業・学習への取り組みを総合的に評価する。

【6】 教科書

吉岡　充弘：系統看護学概論　専門基礎分野　疾病のなりたちと回復の促進 3　薬理学（第 14 版）　医学書院　2022（電子版）

【7】 参考書

授業中に随時紹介

【8】 受講生へのメッセージ

薬と疾患の関係は切り離しては考えられません。看護業務を遂行する上でも薬剤の知識は重要です。この講義で学びを深めましょう。